

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく
臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究

研究分担者 河野浩二 福島県立医科大学 消化管外科 主任教授

研究要旨（がん診療ガイドラインの推奨医療の質評価の現状と将来の在り方）

これまでがん専門系学会が行ってきた臓器がん登録（がん臨床データベース）による研究実績状況は学会間に差はあるものの医療への貢献は明らかである。また、がん診療ガイドラインの提供も有用な情報として確立している。本研究で、日本癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ jscg-cpg.jp」は、医療従事者に対する有効な情報を提供していることが判明した。今後は、ガイドラインに伴うアウトカム検証など、より一層のガイドラインの成熟化への方向性を目指す。

A．研究目的

がん登録推進法の下、「全国がん登録」が実施されている。このデータを如何に利活用するかは不確定で有効な利活用への期待が大きい。これまでがん研究関連専門系学会が行ってきた臓器がん登録（がん臨床データベース）による研究実績状況は学会間に差はあるものの医療への貢献は明らかである。課題点は生存判定の精度、症例の重複登録、などの課題があった。そこで臓器がん登録に関わる 20 種以上の学会を代表する研究者が一堂に会し上記の課題解決を研究し、登録事業を推進することは他に類を見ぬがん医療情報の照合応用研究と考えられる。更に国民の視点に近付けた研究成果情報の提供体制の構築は独創的研究内容と考える。当分担者は、日本癌治療学会を代表して本研究班に参画し、特に、がん診療ガイドラインの質の評価の現状につき、情報提供する役割を担う。

B．研究方法

癌治療学会が提供するがん診療ガイドラインの情報の質の評価と、利用頻度、アウトカムの評価などを行う。

（倫理面への配慮）

倫理的な面での対応は必要ない内容である

C．研究結果

日本癌治療学会は、「がん診療ガイドラインホームページ jscg-cpg.jp」事業を運営し、臓

器横断的な学会として、診療ガイドライン公開事業で、貢献を果たしてきた。ここ数年で爆発的にアクセスが増加し、現在 1 万件/日以上アクセスを記録している。その利用者は、医療従事者利用が 88%で、患者さんの利用は少ない。医療従事者としては、医師と薬剤師が各 30%強の利用であった。

D．考察

日本癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ jscg-cpg.jp」は、医療従事者に対する有効な情報を提供している。今後は、ガイドラインに伴うアウトカム検証など、より一層のガイドラインの成熟化への方向性を目指す。

E．結論

これまでがん専門系学会が行ってきた臓器がん登録（がん臨床データベース）による研究実績状況は学会間に差はあるものの医療への貢献は明らかである。また、がん診療ガイドラインの提供も有用な情報として確立している。本研究で、日本癌治療学会が運営する「がん診療ガイドラインホームページ jscg-cpg.jp」は、医療従事者に対する有効な情報を提供していることが判明した。今後は、ガイドラインに伴うアウトカム検証など、より一層のガイドラインの成熟化への方向性を目指す。

F．健康危険情報

特になし

G . 研究発表

1. 論文発表

1. Sakamoto W, Ohki S, Kikuchi T, Okayama H, Fujita S, Endo H, Saito M, Saze Z, Momma T, Kono K. Higher modified Glasgow Prognostic Score and multiple stapler firings for rectal transection are risk factors for anastomotic leakage after low anterior resection in rectal cancer.

Fukushima J Med Sci. 2020 Feb 18. doi: 10.5387/fms.2019-17. [Epub ahead of print]

2. Wataru Sakamoto, Leo Yamada, Osamu Suzuki, Tomohiro Kikuchi, Hirokazu Okayama, Hisahito Endo, Shotaro Fujita, Motonobu Saito, Tomoyuki Momma, Zenichiro Saze, Shinji Ohki, and Koji Kono. Microanatomy of inferior mesenteric artery sheath in colorectal cancer surgery. J Anus Rectum Colon 2019,3:167-174

3. Ujiie D, Okayama H, Saito K, Ashizawa M, Thar Min AK, Endo E, Kase K, Yamada L, Kikuchi T, Hanayama H, Fujita S, Sakamoto W, Endo H, Saito M, Mimura K, Saze Z, Momma T, Ohki S, Kono K. KRT17 as a prognostic biomarker for stage II colorectal cancer. Carcinogenesis 2019 Nov 22. pii: bgz192. Doi

4. Kikuchi T, Mimura K, Okayama H, Nakayama Y, Saito K, Yamada L, Endo E, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Kono K. A subset of patients with MSS/MSI-low-colorectal cancer showed increased CD8 (+) TILs together with up-regulation of IFN-gamma; as seen in MSI-high-colorectal cancer. Oncology Letters 2019 Dec;18(6):5977-5985. doi: 10.3892/ol.2019.10953. Epub 2019 Oct 2.

5. Kikuchi T, Mimura K, Ashizawa M, Okayama H, Endo E, Saito K, Sakamoto W, Fujita S, Endo H, Saito M, Momma T, Saze Z, Ohki S, Shimada K, Yoshimura K, Tsunoda T, Kono K. Characterization of tumor-infiltrating immune cells in relation to microbiota in colorectal cancers. Cancer Immunol Immunother. 2020 Jan;69(1):23-32. doi: 10.1007/s00262-019-02433-6. Epub 2019 Nov 26

2. 学会発表

河野浩二 「がん診療ガイドラインホームページ jsco-cpg.jp の運営とアクセス状況」
第 57 回日本癌治療学会シンポジウム 2019 年 10 月 25 日

H . 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし

2. 実用新案登録
なし

3. その他
なし